

- アメリカにおける〈スマートクリップ〉を用いた治療現状および臨床レポート ..... P.1
- スマートクリップ セルフライゲーション アプライアンス システム  
のスマートな使い方 ..... P.3

## アメリカにおける〈スマートクリップ〉を用いた 治療現状および臨床レポート

たい矯正歯科

鳥山 聖紀

00年 長崎大学学部卒業

04年 長崎大学大学院卒業 博士(歯学)取得

06年 日本矯正歯科学会認定医 取得



SMARTCLIP<sup>®</sup>  
SELF-LIGATING APPLIANCE SYSTEM



207



Dr. Mario Chorak

シアトル郊外のレントンにて開業しているDr. Mario Chorakは3Mユニテックの〈スマートクリップ〉のストロングユーザーです。

Dr. Chorakは2種類のセルフライゲーション ブラケットを用い、そのどちらかでほとんどの患者を歯列矯正していますが、最近では、〈スマートクリップ〉を使用する頻度が高くなっているということです。

彼はセルフライゲーションの成功の秘訣は正確なポジショニングにあるという観点から、ルーベ首用の必要性を強く訴えており、実際彼は一日の診療時間の多くをポジショニングに割っていました。私の感覚であれば、ワイヤーベンディングでディテilingでも良いかと思えるようなところも迷わずブラケットの付け直しをされていました。

〈スマートクリップ〉の利点の一つは衛生改善を目的とした治療のディテiling段階にあると私は考えています。〈スマートクリップ〉は、必要に応じて、ライゲーション

ブラケットのように、従来のディテiling段階で結紮することができ、衛生の改善に有利にはたります。Dr. Chorakも私と同じような感想を持っていたのは印象的でした。



ルーベを巻くための正確な  
ポジショニング



パノラマX線写真に基づいた  
歯列計画の立案

さて、今回私たちは、〈スマートクリップ〉を用いて、齦生を解消することができた症例を経験したので、ここにご紹介いたします。

#### 〈スマートクリップ〉使用直前



A 治療直前

A 治療直前より5か月



A 治療直前

A 治療直前より5か月



A 治療直前

A 治療直前より10か月

## クリニカルヒント

〈スマートクリップ〉を使用し始めた頃、ワイヤー挿入インスルメントでレクトワイヤーの挿入を行った際に患者さんの痛みが強く苦勞しました。その後、レクトワイヤーを指で押し込むことを始めてから、患者さんの痛みが軽減されました。この方法をお受けの先生方もおられると思いますが、ぜひお試しになってください。指で歯を挟みこんでワイヤーをスロットに入れると簡単に患者さんの痛みも少なくなります。さらに、最近開発されたエッジのとれたハイブリッドレクタングュラーアーチワイヤーはとても扱いやすくなったと思います。

情報化時代では、情報が豊富にある中で、どの情報、どのテクニックを選択するかが、重要になってきているように感じます。それぞれのテクニックの特徴を知り、それを活かした治療が求められる時代となったといえます。〈スマートクリップ〉は、より正確なブラケットのポジショニング、ワイヤーシークエンス等の検討を行えば、予知性の高い治療が期待できます。

最後に、サンフランシスコで開発されている〈スマートクリップ〉のユーザーの先生方は、AAOの指導で矯正歯科治療中のカリエスや、歯根吸収、歯周病の流行などの可能性について説明した上で、患者さんより同意書にサインをもらってから治療を開始するとのこと。その中の一人の矯正医が、現時点で、アメリカではシステムと断言できるものが存在しているわけではないが、治療がシステム化していくにつれて、リスクマネジメントの必要性は高まるだろうと強調されていました。私たちの周りでも、その声を耳にする機会が増えてきたように感じます。今後、リスクマネジメントの一環として、損害賠償保険の充実などの取り組みを期待します。また、そういった取り組みについての先生方の体験やご意見を高山(toriyama@tai.ortho.com)までお寄せください。

今回の報告が〈スマートクリップ〉の特徴を定義する一助になればと思っています。